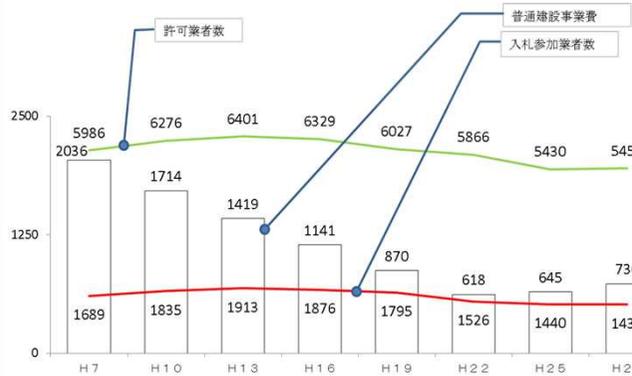


現 状

グラフ1

H7→H22 普通建設事業費が急減！
普通建設事業費△68.3% 入札参加業者数△14.7%



競争が激化！
経営環境悪化

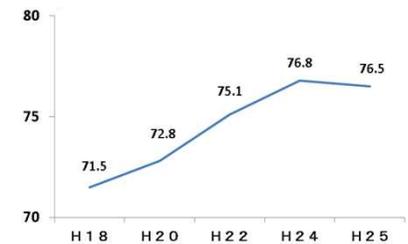
写真：台風18号被災地（栗東市がけ崩れ現場）



大形土嚢積み
災害時に活躍！

グラフ2 県発注工事について

成績評定点(平均)が年々向上傾向



技術力が向上！

3K? 暗いイメージ
将来への不安等

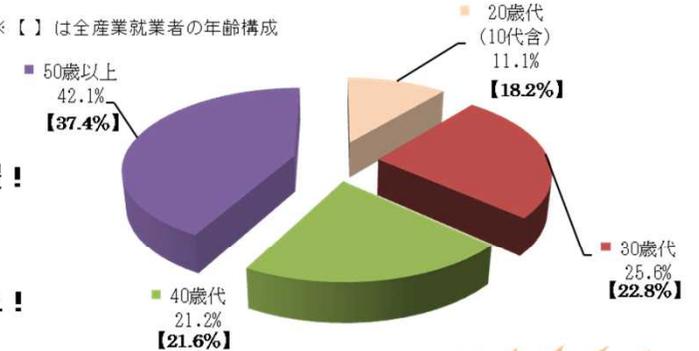
就労環境の悪化
若手不足と高齢化進行

グラフ3

建設業就業者年齢構成 (H22)

他産業より若手が不足・高齢化が進行！

※【】は全産業就業者の年齢構成



※データの一部を時点修正しています。

課 題

検討会で実施したアンケートなどの実態調査や若手・女性技術者座談会、現地調査を通じて建設産業の課題を把握しました

1. 地域に貢献し、地域を支える建設産業の育成

建設産業の役割の社会的認知度が希薄

・基盤整備や災害対応などの役割が認知されていない
・社会貢献活動や地域経済への貢献が知られていない

中小企業が主体で経営基盤が不安定

・経営基盤が脆弱な中小企業が主体
・下請主体の事業者は特定の元請業者に依存傾向

2. 技術と経営に優れた企業が伸びられる環境整備

競争の激化などによる厳しい経営環境

・受注工事量の減少
・受注単価の低下、競争の激化

情報化の進展に対応したICTの活用不足

・品質、コスト、安全等に配慮した効率化の遅れ
・情報分野の急速な技術革新への対応不足

3. 建設産業の総合的な担い手の育成・確保

就業者の厳しい労働環境

・休暇が取得しづらい、仕事内容と給与が不均衡

若手の減少と高齢化の進行

・深刻な若手技術者不足、他産業より高齢化が進行

女性就業者の育成・確保と働きやすい職場環境整備

・建設産業における女性の進出の遅れ
・女性が働きやすい環境の不足

将来展望が持てず先行き不安が拡大

・厳しい経営環境から将来を不安視
・今後の社会資本整備・更新計画が不透明

4. 建設産業魅力発信のための戦略的広報のあり方

魅力を伝えるPR広報が不足

・建設産業の役割や仕事の魅力が伝わっていない

社会的役割

県民の豊かな生活を支える『**社会資本の整備**』

県民の安全・安心につながる『**災害に強い県土づくり**』

地域を支える主要な産業としての『**地域づくりの担い手**』

目指すべき将来像

「地域を支える人と技 魅力あふれる建設産業」

① 豊かな生活の基盤となるインフラ整備の担い手であり、県土の守り手でもある建設産業は、地域の雇用や経済の一端を担う主要な産業として必要とされています。

② 技術と経営に優れた企業が着実に能力を発揮でき、工事の品質が確保され、技術継承が着実に進んでいます。

③ 将来にわたって安心して働くことができ、ものづくりの楽しさ、喜び・達成感・感動が実感でき、「未来に夢の持てる建設産業」になっています。

④ 建設産業の社会的役割や社会貢献活動について、広く県民や若者に認識されています。

取組の方向性

4つの取組分野

県土の守り手の振興

制度の改善

担い手の育成確保

魅力発信

1. 地域の発展と安全・安心の担い手の魅力ある活躍

2. 優れた能力が発揮できる環境整備

3. 将来にわたって地域を支える人と技の継承

4. 未来を拓く子どもたちへ

短期的取り組み

- ・ 災害等への緊急対応への取り組みの強化拡大
- ・ 県内企業・県内材料調達の利用促進
- ・ 地域社会に貢献できる企業の育成
- ・ コンプライアンスの普及・徹底

中長期的取り組み

- ・ 地域インフラ資産の維持管理のあり方の検討
- ・ 地域経済の活性化に向けて



短期的取り組み

- ・ 価格と品質が優れた調達の実現
- ・ 優れた技術力を有する企業の活用
- ・ 適正な価格による契約の推進（ダンピング対策の強化）
- ・ 下請契約における透明性の確保

中長期的取り組み

- ・ 入札制度の改善に向けた取り組み
- ・ 多様な入札契約方式の検討
- ・ 建設産業の技術力向上と情報化



短期的取り組み

- ・ 専門工事業者や技能労働者等の育成・確保
- ・ 幅広い研修制度の充実
- ・ 若手技術者育成型工事の発注
- ・ 女性技術者の育成・確保
- ・ 表彰制度の充実
- ・ 発注の平準化
- ・ 建設業関係従事者の処遇の改善
- ・ 県発注工事における提出書類の簡素化
- ・ 建設業の魅力若者に伝える現場実習等の積極的展開
- ・ 建設産業担い手確保のための連携
- ・ 小・中学生、高校生を対象とした建設産業の魅力発信施策の展開
- ・ 建設業への新卒採用者についてのサポート

中長期的取り組み

- ・ 働きやすい職場環境の整備
- ・ 情報化施工が導くスマートな建設現場
- ・ 公共事業の将来見通しの公表
- ・ 教育機関との連携

短期的取り組み

- ・ マスコミや県広報誌等を活用した建設産業魅力発信施策の推進
- ・ 建設工事における「ものづくりの見える化」の発信
- ・ 県民を対象とした現場見学会の実施

中長期的取り組み

- ・ 幅広い広報体制の構築
- ・ 次代を担う子どもたちへ建設産業の魅力発信事業の展開



『(仮称)滋賀県建設産業活性化推進のための懇話会』による定期的検証